

図書館だより

2023年12月371号
 釧路市音別町ふれあい図書館
 編集者/美村由美子 ☎6-3435

日	月	火	水	木	金	土
						1
3	4	5	6	7	8	9 クリスマスイベント
10 クリスマスイベント	11	12 出前のおはなし会	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 ふれあいDAY
24	25	26	27	28	29	30
31	 【開館時間】午前10時～午後6時 【休館日】月曜日、第3土曜日・日曜日、祝祭日					



↑本の検索・予約はこちらから↑



↑ふれあい図書館 HP↑

新刊紹介は裏面にあります。

クリスマスイベント

日時:12月9日(土) 13:00~14:00
 12月10日(日) 11:00~12:00

場所:児童閲覧室(図書館1階)にて

人数:両日とも幼児・児童とその保護者5組限定(事前申込有り)

手人形や、クリスマスにちなんだ、読み聞かせ、サンタさんにおねがいごとを書こう!です。図書館から、ささやかですが手作りのプレゼントも用意しています。

何がもらえるかな?来てからのお楽しみ!!

ふれあいDAY おはなし会(クリスマスバージョン)

日時:12月23日(土) 11:00~11:30

場所:児童閲覧室(図書館1階)にて

新ふれあいDAY
 シールでちょうを持
 参ってください。



冬休み 図書館のおしごと体験

日にち1月6日(土)・7日(日)

時間①10:00~12:00

②13:00~15:00

申込み用紙は、各学校より配布
 予定です。たくさんの応募まっ
 ます!

利用者さんの皆さま、
 是非ご来館ください。



年末年始の休みについて

12月29日(金)~1月3日(水)
 は年末年始にてお休みとなり
 ます。

それに伴って通常2週間貸出
 のところが3週間となります。

対象日:15日(金)~20日(水)です。

返却の方は返却ポストに入れてください。



冬といえば『白』=『ホワイト』として...タイトルにホワイトがついた小説を選んでみました!!

谷村 志穂『スノーホワイト』 加藤 実秋『ホワイトクロウ』 松久 淳『ホワイトグッドバイ』

若杉 冽『原発ホワイトアウト』 伊坂 幸太郎『ホワイトラビット』 *是非、借りてみませんか!?



12月新刊紹介

一般書・実用書



「ぼくはあと何回、満月を見るだろう」
坂本 龍一
命が尽きるその瞬間まで、新たな曲を作りたい。自らに残された時間を悟り、教授は語り始めた。
世界的音楽家、最後の言葉。

「わっしょい！妊婦」/小野 美由紀
この社会の中での初期妊婦の居づらさはいったい何だろうか。しかし、そのことにいきりたったり疑問を呈したりする余裕もなく、初期の数週間はとにかくこの具合の悪さをどうにかせねば、生きてゆくことすらままならない。

絵本・紙芝居



「わるテリアとずるドッグ」
「そらまめくんのありがとう」
「ようかいむらのきもだめしキャンプ」
「サンタさんのゆめ・トナカイさんのゆめ」
「すみっこぐらしまちがいさがし いくきぎぎですみっこ編」



小説



「カモナマイハウス」/重松 清
家とお別れ、きちんとできますか？
実家がきわどい「空き家再生策」の標的に!?
空き家をめぐる泣き笑いの家族劇、いざ開幕！

「リラの花咲くけものみち」/藤岡 陽子
動物たちが「生きること」を教えてくれた。
北海道の大学で獣医師を目指す聡里は、自然に、生き物に、人に、育てられてゆく。
心に傷を負った少女の大いなる成長を描く、著者の新たな代表作

児童書



「恐竜キャラクター大図鑑」
「モノのなまえ事典」
「学校の怪談大事典」 「税金のひみつ」
「かいけつゾロリいきなり王さまになる？」
「水はどこからやってくる？」



その他の新刊紹介は表面のふれあい図書館 HP のQRコードから…

今月の【おすすめ】作家 浅田 次郎



1951年12月13日 東京都生まれ

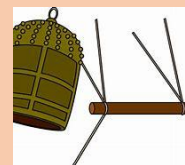
『すべての愛について』2006年 『つばさよつばさ』2000年

『アイム・ファイン！』2010年 『パリわずらい江戸わずらい』2014年

『竜宮城と七夕さま』2017年

*音別町ふれあい図書館に蔵書されていない本を選びました

*他にもご用意しています。是非、借りてみませんか!?



図書館からの情報は表面に記載しています。





新刊紹介



(一般教養・実用書)

- 香山 リカ 「逃げたっていいじゃない」
- 鮎川 潤 「幸福な離婚」
- 栗山 英樹 「栗山ノート2」
- 秋野 禎木 「北海道大地の理」
- 吉田 類 「吉田類の愛する低山30」
- 村中 洋介 「そのときど〜する?災害避難支援」
- 笠原 将弘 「今さらだけど、「和食」を
イチから考えてみた。」
- 岡崎 大輔 「親も子もラクになる ゆるめる子育て」
- 坂本 龍一 「ぼくはあと何回、満月を見るだろう」
- 神田 伯山 「講談放浪記」
- 松田 リエ 「コストコ瞬食ダイエット」
- 小野 美由紀 「わっしょい!妊婦」
- 猪熊 隆之 「天気のことわざは本当に
当たるのか考えてみた」



(絵本)

- 「わるテリアとするドッグ」
- 「そらまめくんのありがとう」
- 「ようかいむらのきもだめしキャンプ」
- 「サンタさんのゆめ・トナカイさんのゆめ」
- 「すみっコぐらしまちがいさがし いくさきざきですみっコ編」



(小説)

- 青柳 碧人 「むかしむかしあるところに、
死体があってもめでたしめでたし。」
- 青山 七恵 「前の家族」
- 朝比奈 秋 「あなたの燃える左手で」
- 石田 夏穂 「我が手の太陽」
- 重松 清 「カモナマイハウス」
- 高瀬 隼子 「いい子のあくび」
- 辻堂 魁 「乱菊」
- 乃南 アサ 「雫の街」
- 乗代 雄介 「それは誠」
- 畠中 恵 「いつまで」
- 藤岡 陽子 「リラの花咲くけものみち」
- 米澤 穂信 「可燃物」



(児童書)

- 「恐竜キャラクター大図鑑」
- 「モノのなまえ事典」
- 「学校の怪談大事典」 「税金のひみつ」
- 「かいけつゾロリいきなり王さまになる?」
- 「水はどこからやってくる?」



「リラの花咲くけものみち」 藤岡 陽子

動物たちが「生きること」を教えてくれた。

北海道の大学で獣医師を目指す聡里は、自然に、生き物に、人に、育てられてゆく。

心に傷を負った少女の大いなる成長を描く、著者の新たな代表作